

## 第76回全日本選手権戦績 ~つるっ子通信 全日本選手権 09.02.17 発行

アジアリーグと双璧をなす全日本選手権、昨年はホーム釧路で開催されたもののあと一步のところまで SEIBU プリンスパッツにその栄光を奪われた。「取られたものは取り返す。」全日本選手権のタイトルを取り返すためチーム一丸となったクインズの戦績は以下の通りであった。



ゴール裏に掲げられた4チーム合同 Love Hockey のバナー

2/13 準々決勝 vs 明治大学 (新横浜スケートセンター)

4-2(1-1,2-0,1-1) G24 A3-20 G75 A20 G24 A20-3 G17 A75-7

全日本選手権はアジアリーグ国内4チームが準々決勝からの顔見せとなる変則トナリ。準々決勝、クインズの相手は関東学生リーグの雄・明治大学。序盤から元気一杯の学生に走られ、先取点を奪われたものの、怪我から復活した飯塚が同点ゴールをあげ、2ピリにユールと飯塚のゴールで突き放した。しかし、3ピリ開始早々、明大に1点差に詰め寄せられると両チームともにパナルティが多くなる荒れた展開に…最後は飯村がインジゴゴールを決め、初戦とはいえ学生相手に辛勝の結果となった。

2/14 準決勝 vs 王子イーグルス

4-1(0-1,2-0,2-1) G75 A11-17 G75 G17 A75 G14 A10-2

第1試合で決勝へ駒を進めた前回王者 SEIBU への挑戦権を賭けての王子との試合。前日の辛勝から一変、気合を入れなおして臨まなければいけない相手。しかし、1ピリのパワープレーのチャンスでキパーと DF の連携ミスから相手にシュートゴールを許してしまう。その後、2ピリに4分間のパワープレーを得るも、王子の守備陣形を崩すような攻めの形を作ることができず、リーグ中に何度か感じたふがいなさ。今日の試合もこのまま終わるのかと思いきや、パワープレー終了前にユールが倒れこみながらゴールを決めた。そこからのクインズはチームフェイス、攻撃ともに勢いを取り戻し、2ピリ終了前にはユールがインターセプトから一人で持ち込み逆転ゴールを挙げると、3ピリには左サイドでフリーになっていた飯村の狙いすましたショット、佐藤匡の3人抜きからのショットで追加点を上げ、王子の6人攻撃も1失点で切り抜け、4-2でイーグルスに勝利し、前回王者 SEIBU への挑戦権を獲得した。



倒れこみながらの先制点ユール！この日2Gの活躍

2/15 決勝 vs SEIBU プリンスパッツ

5-6(1-0,2-4,2-3) G34 G18 A28-24 G11 A17-7 G17 A75-23 G20 A18-24

待ちに待った全日本選手権の決勝。今シーズン限りで廃部が決定した SEIBU に対してクインズができることは、ライバルとしてこの決勝戦をアイスホッケーファンのにとって最高の試合にすること、そして昨年の借りを返すことである。



西脇同点ゴール！そして派手なガッツポーズ

力の限り走り、パックを追い、チェックに行く。そんな白熱した好ゲームであったが、勝負の神様は非常にもクインズには微笑まなかった。3ピリ残り3分のところでパベツクがボード際から持ち込んだパスを SEIBU 鈴木がシュート…パックはクインズゴールに吸い込まれた。18分過ぎからの6人攻撃も成功せず、60分間の戦いは終わり、全日本選手権のタイトル奪還とはならなかった。試合終了のブザーとともに少しいざござはあったものの、ライバル同士が持てるすべてを出し合った最高の戦い、今季いちばんの好ゲームではなかっただろうか。まずはその戦いを制し、全日本選手権を優勝した SEIBU に対し「おめでとう」と伝えたい。そして、今日から始まるアジアリーグプレーオフ、「クインズはチーム、ファナー丸となって SEIBU に必ず借りを返す」旨の挑戦状を叩きつけたい。

1st ラウンドは今日から HIGH1 と、セミアイムはNHUとの対戦となる。リーグの対戦成績はクインズ有利であるがアジアリーグ初の韓国勢優勝を目指し、両チーム相当気合が入っている。SEIBU に借りを返すまでに足元をすくわれないよう、韓国の両雄を倒すべくチーム、ファナー丸となってプレーオフに臨みたい。

立ち上がり、インジゴ全開の SEIBU におされ気味のクインズはパワープレーのピンチから失点を許してしまう。しかし2ピリ、SEIBU DF のクリアを原武がカットし、そのままシュートするとゴールに突き刺さり同点に追いつく。その後、ミから2点リードを許した2ピリ中盤であったが、すぐさま伊藤雅が落ち着いてキパーを交わした技ありゴールを決め、そのあと得たパワープレーのチャンスで飯村からのパスをゴール前の西脇がゴールに叩き込み再び同点とした。さらには2ピリ終了前のパワープレーチャンスで飯村がゴールを決め逆転、1点リードで2ピリを終了。しかし、SEIBU 相手に1点リードはないも同じ。そのことをよくわかっているクインズは攻め手を緩めず、3ピリ5分にダニがこぼれたシュートをゴールにきっちり決め、2点差に。それがかえってクインズに安心感を与えたのか、残り時間8分のところで再び試合は振り出しに戻る。両チームともに



今季も準優勝・・・この雪辱はプレーオフで